



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213 (代表)
 半期報告書提出予定日 2025年8月12日 配当支払開始予定日 2025年9月8日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	27,180	4.4	1,935	19.0	1,752	△12.7	997	△18.1
2024年12月期中間期	26,044	7.1	1,626	275.8	2,007	161.8	1,217	327.0

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 △441百万円 (-%) 2024年12月期中間期 3,177百万円 (90.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	62.93	—
2024年12月期中間期	77.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期中間期	64,772	35,604	50.5	2,063.51
2024年12月期	62,366	36,553	54.0	2,125.60

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 32,718百万円 2024年12月期 33,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	25.00	—	27.00	52.00
2025年12月期	—	30.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	5.4	3,600	2.3	3,400	△14.5	2,400	△12.9	151.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	17,710,000株	2024年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	1,854,331株	2024年12月期	1,879,105株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	15,842,116株	2024年12月期中間期	15,808,260株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）における世界経済は、ウクライナ及び中東情勢の地政学リスクによる影響が懸念される状況が続いております。また、足元の米国トランプ政権による相互関税など保護主義的な政策等により、世界景気に与える影響は極めて複雑で不透明な状況となっております。また、わが国経済は、個人消費の持ち直しやインバウンドの影響等により景気は緩やかな回復基調となっておりますが、米国の関税政策により、今後は国内景気に与える影響が懸念されます。

このような中、当社グループは企業パーパス「Activate Your Life」（ステークホルダーとともに、無限に広がる界面カガクのチカラで様々な社会課題を解決し、より豊かな暮らしや輝く未来に貢献すること）に基づき、中長期成長ビジョンとして『世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー』を掲げております。当パーパス、ビジョンのもと3か年中期経営計画『INNOVATION25』（2023-2025）を策定し、現在、中期経営計画の5大戦略である「事業構造の大転換」「メリハリのある投資」「生産性改革」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」の推進に取り組んでいるところであります。

今後も激変していく経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力し永続的成長を目指してまいります。

3か年中期経営計画『INNOVATION25』の最終年度となる当中間連結会計期間の売上高は27,180百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益1,935百万円（前年同期比19.0%増）、経常利益1,752百万円（前年同期比12.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益997百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

（化学品事業）

売上高は19,602百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は2,106百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

主力の繊維化学品において、中国拠点を中心に、フッ素フリー撥水剤や工程合理化薬剤等の高付加価値EHD関連製品売上高比率が向上した事や、新規ビジネスの獲得等により売上が伸長しましたが、第2四半期の途中からトランプ関税の影響により顧客である海外繊維加工場の稼働が減速傾向となり、その影響を受けました。また、半導体市場の一部回復に伴う電子材料関連工程薬剤売上が伸長しました。これら売上の伸長により、製造経費や販売管理費が増加したものの、化学品事業は増収増益となりました。

（化粧品事業）

売上高は7,337百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は818百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

当社デミコスメティクスにおいては、物価上昇など国内経済が不透明な中、主力ヘアケアや新商品の拡販により堅調に推移いたしました。連結子会社においては、DEMI KOREA CO., LTD.における販売は市況悪化の影響を受け売上が減少したものの、山田製薬株式会社における受託事業は好調に推移いたしました。その結果、化粧品事業は増収増益となりました。

（その他）

売上高は240百万円（前年同期比60.3%増）、セグメント利益は39百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,406百万円増加し64,772百万円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が1,205百万円、建物及び構築物（純額）が472百万円減少し、有形固定資産のその他（純額）が4,257百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、3,355百万円増加し29,168百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が1,752百万円及び長期借入金が1,316百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、949百万円減少し35,604百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が893百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ146百万円増加し、9,027百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは2,268百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,884百万円及び減価償却費1,044百万円等の収入と、法人税等の支払額655百万円の支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは4,528百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,114百万円の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは2,910百万円となりました。これは主に、短期借入れによる収入35,704百万円及び長期借入れによる収入1,859百万円等の収入と、短期借入金の返済による支出33,952百万円及び配当金の支払額427百万円の支出によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年2月14日に公表いたしました業績予想から、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ修正を行っております。

詳細につきましては、2025年7月31日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,726	10,617
受取手形、売掛金及び契約資産	11,996	10,791
商品及び製品	5,314	5,155
仕掛品	818	752
原材料及び貯蔵品	4,372	4,655
その他	1,005	1,033
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	34,221	32,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,401	11,928
機械装置及び運搬具（純額）	2,365	2,161
土地	7,760	7,792
その他（純額）	1,475	5,732
有形固定資産合計	24,002	27,614
無形固定資産		
その他	510	627
無形固定資産合計	510	627
投資その他の資産		
その他	3,631	3,535
投資その他の資産合計	3,631	3,535
固定資産合計	28,144	31,777
資産合計	62,366	64,772

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,181	5,806
短期借入金	4,300	6,052
1年内返済予定の長期借入金	1,368	1,868
未払法人税等	534	380
賞与引当金	961	853
役員賞与引当金	15	9
その他	3,783	3,723
流動負債合計	17,143	18,694
固定負債		
長期借入金	4,234	5,550
退職給付に係る負債	3,132	3,238
株式報酬引当金	210	216
その他	1,091	1,468
固定負債合計	8,668	10,473
負債合計	25,812	29,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,960	2,960
利益剰余金	24,251	24,821
自己株式	△1,407	△1,386
株主資本合計	28,703	29,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	719	569
為替換算調整勘定	4,119	3,226
退職給付に係る調整累計額	107	△372
その他の包括利益累計額合計	4,946	3,424
非支配株主持分	2,903	2,885
純資産合計	36,553	35,604
負債純資産合計	62,366	64,772

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）
売上高	26,044	27,180
売上原価	16,747	17,300
売上総利益	9,296	9,879
販売費及び一般管理費	7,669	7,943
営業利益	1,626	1,935
営業外収益		
受取利息	35	49
受取配当金	16	20
持分法による投資利益	5	7
為替差益	178	—
その他	176	78
営業外収益合計	412	155
営業外費用		
支払利息	18	49
為替差損	—	116
支払手数料	—	141
その他	13	31
営業外費用合計	31	339
経常利益	2,007	1,752
特別利益		
固定資産売却益	1	135
特別利益合計	1	135
特別損失		
固定資産除却損	1	2
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	1	3
税金等調整前中間純利益	2,007	1,884
法人税等	644	726
中間純利益	1,362	1,158
非支配株主に帰属する中間純利益	145	161
親会社株主に帰属する中間純利益	1,217	997

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）
中間純利益	1,362	1,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△149
為替換算調整勘定	1,782	△971
退職給付に係る調整額	17	△478
その他の包括利益合計	1,814	△1,600
中間包括利益	3,177	△441
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,825	△525
非支配株主に係る中間包括利益	351	83

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,007	1,884
減価償却費	1,087	1,044
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	14	△362
賞与引当金の増減額（△は減少）	△80	△106
受取利息及び受取配当金	△51	△69
支払利息	18	49
支払手数料	—	141
持分法による投資損益（△は益）	△5	△7
固定資産売却損益（△は益）	△1	△135
売上債権の増減額（△は増加）	△463	852
棚卸資産の増減額（△は増加）	△71	△341
仕入債務の増減額（△は減少）	186	△162
その他	△107	89
小計	2,531	2,876
利息及び配当金の受取額	52	97
利息の支払額	△18	△49
法人税等の支払額	△390	△655
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,175	2,268
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,230	△1,370
定期預金の払戻による収入	375	1,583
有形固定資産の取得による支出	△601	△5,114
有形固定資産の売却による収入	25	142
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	0	—
その他	△78	234
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,512	△4,528
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	49,323	35,704
短期借入金の返済による支出	△49,423	△33,952
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5	△18
長期借入れによる収入	—	1,859
長期借入金の返済による支出	△634	△184
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△105	—
配当金の支払額	△252	△427
非支配株主への配当金の支払額	△202	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,299	2,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	601	△504
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△35	146
現金及び現金同等物の期首残高	7,977	8,881
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,942	9,027

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,186	6,707	25,893	150	26,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	119	120
計	19,186	6,708	25,894	270	26,164
セグメント利益又は損失（△）	1,856	675	2,531	△9	2,521

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,531
「その他」の区分の利益又は損失（△）	△9
セグメント間取引消去	25
全社費用（注）	△920
中間連結損益計算書の営業利益	1,626

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,602	7,337	26,939	240	27,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2	2	145	148
計	19,602	7,340	26,942	386	27,328
セグメント利益又は損失（△）	2,106	818	2,925	39	2,964

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,925
「その他」の区分の利益又は損失（△）	39
セグメント間取引消去	△4
全社費用（注）	△1,023
中間連結損益計算書の営業利益	1,935

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。